

いのち支える総社市自殺対策推進計画(第2次)素案に係る意見募集(パブリックコメント)の実施結果

1 意見募集の概要

素案の公表の方法	総社市のホームページに概要を掲載するとともに、総社市役所、各出張所で縦覧に供しました。
意見募集の期間	令和7年2月12日(水)から令和7年3月3日(月)まで
パブリックコメントの対象者	総社市内に在住か在勤、在学の人
意見の提出方法	住所、氏名、勤務先か学校名、連絡先か意見を記載し、郵送、電子メール、持参のいずれか

2 パブリックコメントの結果

意見提出者数 3人

意見提出件数 10件

NO	ページ	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方
第2章 総社市における自殺の現状と課題			
1	4	令和4年の総社市の自殺者数 14 人多いが、R2 の 16 人はコロナ禍の影響と同様に何か要因が分かれば、コメントできないか。(R5 年が6人となった背景推移が今後の対策に結びつくかも)	要因は分かっておりませんが、関係機関と連携を図り、自殺者数0を目指し、自殺対策に取り組んでまいります。
2	6	図4原因・動機別の構成割合(%)の棒グラフで、不詳が県・総社市は 30%強と多い。(3人に1人) 何らかの事情で分かってても言えないのか、要因が重層的なためなのか、県の策定委員会でも学識経験者委員から不詳割合を削減できないかとの意見がある。	不詳は、警察の聞き取りなどでは原因がわからないものです。全国的にも不詳が多いことが対策の壁と言われています。自殺は様々な要因が複合的に連鎖することにより引き起こされます。そのことを念頭におき、対策を推進していきます。
第5章 自殺対策推進のための施策			
3	16	人は、ボランティア活動など他者貢献をすることで、自分の価値を再確認することができます。 そのことから、思い悩み始めた人が気軽に社会貢献活動に参画しやすい環境の整備を予防施策に取り入れてはどうかと考えます。	市民が自殺対策について理解を深められるよう普及啓発に取り組むとともに、生きがいづくりも含め、社会貢献活動に気軽に参加できる環境整備について検討してまいります。
4	16～24	重点施策の(1), (2)の番号と基本施策の(1), (2), (3), (4)の番号を変えたほうが分かりやすい。例えば、重点施策は A, B とするなど。 同様にP17 以降の表中右端欄の該当施策の記載の差別化を図り、重点施策は、 <u>重点施策</u> とするなど、見やすさをご検討頂きたい。	重点施策と基本施策の見やすさについては、検討いたします。
5	17～	本来、課題に対する施策があつて、その施策の具体的実施内容という考え方。 P17 からの表が、左端欄が事業名からに	本来ならば、ご意見の並びがよいとは思いますが、計画自体が相談先の普及啓発等にもなっており、事業名、内容、担当課から表記することが

		なるので、違和感がある。 もし、【事業名】からスタートするのであれば、【どの課題に対する施策】で、【施策の方向性】→【具体的取り組み】→【担当課名】という記載がよいのではないか。 現状のままで大きく構成を変更しないのであれば、「2 対応の段階ごとの施策」を「2 施策における段階ごとの対応」として少し変更するのもいいのではないか。	わかりやすいと考え、この並びにしております。 「2 施策における段階ごとの対応」として変更します。
	第6章 計画の数値目標と評価指標		
6	25	2 評価指標の表ですが、左端欄に該当施策がきて、これを達成すべく、この目標指標の並びがよいのではないか。	評価指標の表についても第5章の考え方と同様の考え方で事業名から並べた方がわかりやすいため、この並びにしています。
	第7章 推進体制		
7	27	総社市自殺対策連絡協議会の委員に総社市人権擁護委員を加えるよう検討をお願いしたい。理由としては、人権擁護委員は人権相談、人権啓発に取り組んでおり本件でも人権委員の力が活かされるため。 P33 委員一覧表に加える。	ご意見をふまえて検討して参ります。
8	28	総社市民生委員・児童委員協議会の取り組みの末尾に「主任児童委員を中心とした学校支援活動に取り組んでいる」の追記をお願いしたい。	「主任児童委員を中心とした学校支援活動の実施」と追記いたします。
9	28～30	P28-30 の表が、関係機関・団体の取り組みについて、取り組みがほぼ事業名のため、どういう意図で実施していくのか、わかりにくい。推進にあたって、取り組み内容を記載したほうがよい。 せっかくの推進体制で、これだけ取り組みがあるが、羅列になっており、先の段階ごとの取り組みのように分類できないか。 推進に係る関係者・関係機関(庁内・庁外)が、(1)目指すところ＝目的(基本理念)に向かうために(2)目標＝重点・基本施策を達成するように、(3)具体的取り組みの実施(計画)を遂行するという流れがわかりやすいような表記の仕方がよいのではないか。	第7章 推進体制について表記しており、P28-30 の表については、関係機関がどのような取組をしているか明記することで役割を確認するとともに、市民の方への周知も同時にしております。 そのため、計画としては見やすいのではないかと考え、この並びにしております。
	計画全体		
10		第4章を第2章、第2章を第4章と構成の入れ替えをしてはどうか。 第1章で策定趣旨 第2章で総社市の基本理念、総社市の基本方針を示し 第3章でこれまでの計画、前計画の最終評価を延べ 第4章で、前計画を実施してきたうえでの総社市の自殺の現状と課題 第5章で、第4章の課題を踏まえて自殺対策推進のための施策とすると理解しやすいと感じました。	第2次計画に関する基本理念・基本方針になりますので、第2章 総社市における自殺の現状と課題、第3章 前計画の評価を踏まえ、第4章 基本理念・基本方針とつながっており、構成の入れ替えはせず、現状のままでと考えております。